HIROSHIMA APPEALS 2017

原 研哉 Kenya Hara

「HIROSHIMA APPEALS 2017 キノコ図」

キノコ雲を下から見上げる図である。日本の、広島の人々の、まさに頭上で、人類 史上最悪の奸智の結晶が炸裂した。その瞬間に眼を凝らそうと思った。ポスターに は移ろう現実や心情を永遠に静止させる力がある。ポスター表現としての「HIRO-SHIMA APPEALS」は、静止画であるところに意義がある。まさに祈りを制作している のだ。原爆で亡くなった方々のことを考えると、あらゆる表現は無力だが、頭上で核 兵器が炸裂した街があるという事実に、意識の照準を合わせてみることが、祈りに通 じるのではないかと思った。

「抑止力」と称されつつ、地球を幾重にも破壊できる量の核兵器が準備されている 現実を考えると、絶望的な気持ちになる。人類は自分たちが考えているほどには賢 くはない。「わたし」や「国」や「信条」といったものを優先するために、自分たちが生 きる母胎すらも破壊しかねない人類は悲しいほど愚かだ。生の連繋を本能的に尊 重しつつ生きているように見える他の生物たちよりも、はるかに先の短い存在なのか もしれない。

リアルなイラストは、30年来の付き合いになる水谷嘉孝との共同制作である。僕が 原画を描き、それをそのまま、水谷の技術で精緻に仕上げていく。自分の頭の中に あるイメージを精密に可視化していくためにお願いしているコラボレーションである。 原画はキノコの傘を丸ごと描いたが、最後にトリミングをした。もう一歩、爆発の中に 踏み込んでみた。